

## 禁煙補助薬

# ニコチネルTTS<sup>30</sup><sub>20</sub><sub>10</sub>の使い方

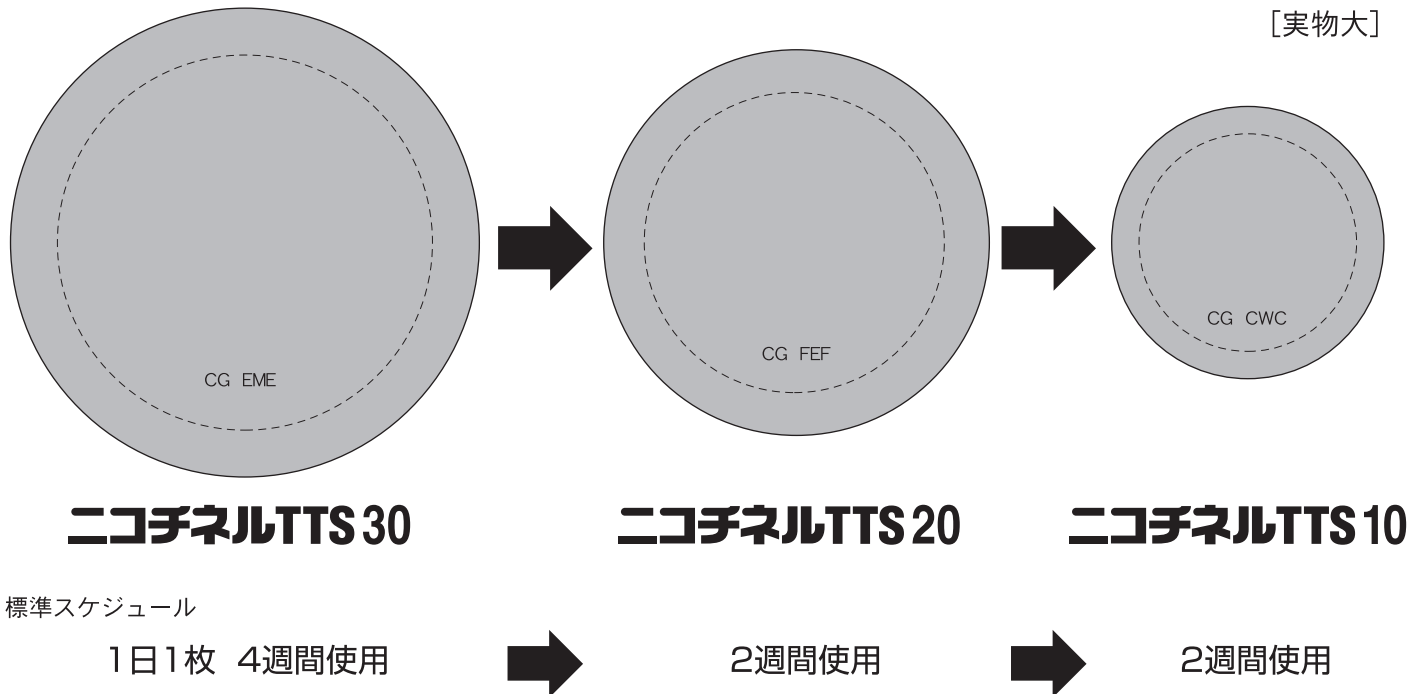
主治医の指示に従って使用してください。

喫煙の習慣は、タバコに含まれるニコチンに対する身体的な依存と、習慣による心理的な依存によるものとされています。すなわち、タバコがやめにくいのは、禁煙による離脱症状(タバコを吸いたいという欲求、いらいら感、集中力低下)が伴うことと、長い間にわたる習慣からの脱却の難しさにあります。ニコチネルTTSは1日1回皮膚に貼ることにより、ニコチンが体内に吸収されるように設計されており、禁煙時の離脱症状を一時的に軽減して禁煙を容易にすることを目的としています。この薬を使用している間に、今までの喫煙習慣にかわる生活習慣を身につけ、禁煙を成功させましょう。

### この薬の使用スケジュールについて

- この薬は1日に1回貼りかえてください。
- この薬の使用は8週間で終了することを目標とし、10週間を超えて使用しないでください。

ニコチネルTTSは、3種類(30cm<sup>2</sup>、20cm<sup>2</sup>、10cm<sup>2</sup>)あり、サイズが小さくなるにつれてニコチンの量が少なくなります。30→20→10とニコチンの量を徐々に減らし、最終的にニコチネルTTSの使用もやめます。

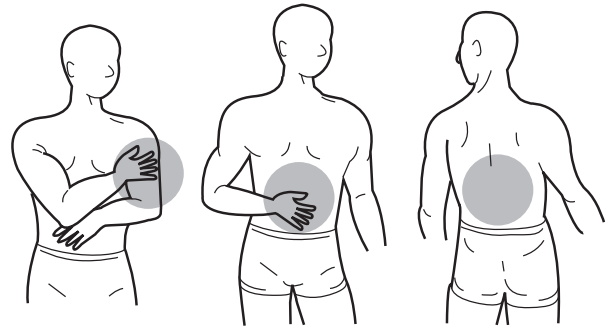


ニコチネルTTSの使用期間中は、タバコを吸わないでください。もし、この薬を貼っているときに喫煙すると、体内に過量のニコチンが摂取される可能性があり、頭痛、めまい、吐き気などの副作用があらわれるおそれがあります。また、タバコを吸わない人がこの薬を貼ったときも、体内に過量のニコチンが摂取されたときと同様の副作用があらわれるおそれがあります。

## この薬の貼り方

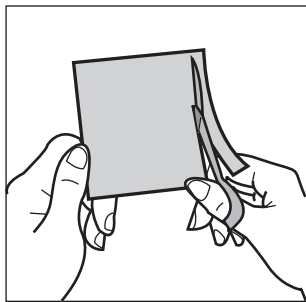
### 貼るときの注意

- 傷や皮膚病のある場所、またはベルトラインや体毛の濃い部分は避けてください。
- 皮膚への刺激を避けるため、**貼りかえごとに貼る場所をかえ**、繰り返し同じところには貼らないでください。
- この薬剤は切って使用することはできません。
- 入浴後に貼る場合は貼る場所の水分を十分に取り除き、乾燥させてから貼ってください。



### 1 貼る場所

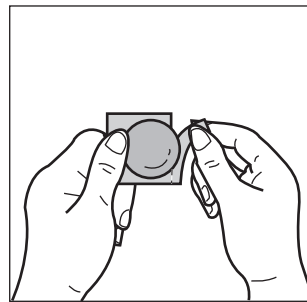
両上腕部、腹部、腰背部のいずれかに貼ってください。貼る場所がぬれているときは、タオルなどでよく拭いて乾燥させます。



### 2 内袋をハサミで切り、薬剤を取り出す

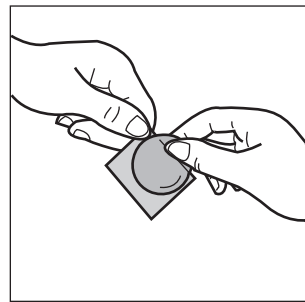
この袋は、小児が容易に取りだせない特殊な包装になっていますので、内袋裏面の点線に沿って、貼付剤を傷つけないようハサミで切り、薬剤を取り出します。

※開封後は、1ヵ月以内に使用してください。



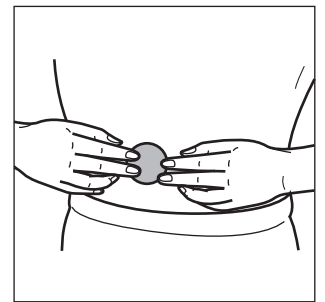
### 3 薬剤を取りやすくする

アルミシートの小さいほうを注意して手で切り取ります。



### 4 シートから薬剤をはがす

アルミシートをゆっくりとはがします。丸いほうが薬剤です。



### 5 体に貼り、押さえる

肌にシワができないように伸ばして貼ります。薬のフチが浮かないように**10秒くらい手のひら、指先でしっかり押さえ**ます。薬剤は、このまま24時間貼り続けます。

## 使い終わった薬の捨て方

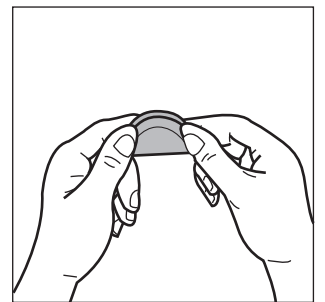
- 使用済みの薬であっても**小児が手にすると危険**ですので、粘着面を向かい合わせて折り畳み、小児の手の触れないような場所に捨ててください。

## 保管上の注意

- 使用するまでは、袋を開けず高温を避けて保管してください。
- 小児の手の届かないところに保管してください。

## その他の注意

- 次の検査及び治療を受けるときは、この薬をはがしてください。(貼付部位にやけどを生じるおそれがあります。)(1) MRI (2) ジアテルミー (高周波療法) (3) 電氣的除細動 (AED等)
- この薬の使用中は、サウナの使用や激しい運動はしないでください。(はきけ、腹痛、めまいなどの症状があらわれることがあります。)
- 発熱しているときは、ニコチンの吸収量が増加し、過量摂取になるおそれがあります。医師又は薬剤師に相談してください。
- 激しいかゆみ、発疹などの皮膚症状、頭痛、ねむれない等の症状に気づいたら、薬をはがして使用を中止し医師又は薬剤師に相談してください。
- この薬は、あなたのみ到处方されたものですので、決して他の人には譲り渡したりしないでください。



その他、この薬に関するお問い合わせはご担当の医師、薬剤師もしくは下記まで